天然木だから起こること

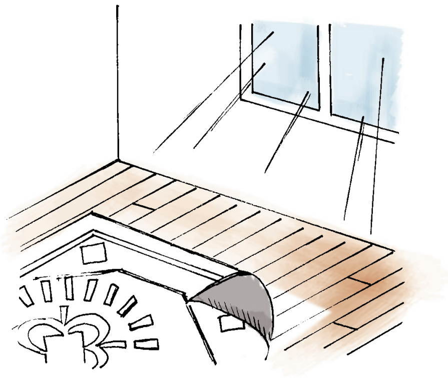
変色・褪色について

変色・褪色

天然木フロアはお使いいただいている間に太陽光や照明などの光の影響によって徐々に色が変わったり褪色したりすることがあります。直射日光が当たる床面では、変色・褪色が早まります。カーテンで出来るだけ遮ってください。

変色が起きた場合

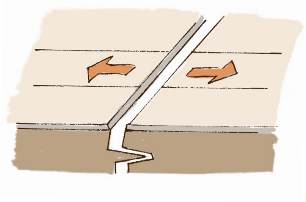
カーペットを敷いた部分や家具を設置した箇所などは、その被いを除けた時、くっきりと周囲と色合いが違う跡が現れます。被いを除けた後そのまま光の影響を受けさせれば、徐々に色合いが変化して周囲と馴染んでいきます。



湿度の変化について

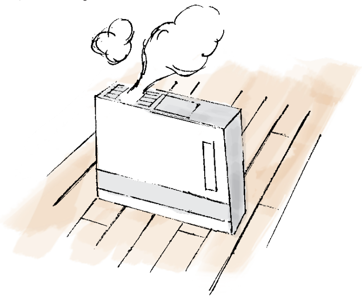
スキ、反り、突き上げ

冬場などはフロアが乾燥して縮むため、フロアの継ぎ目部分で若干のスキ間があいてくることがあります。逆に湿気が高い時期が続くと、フロアが伸びて継ぎ目部分が突き上がることもあります。



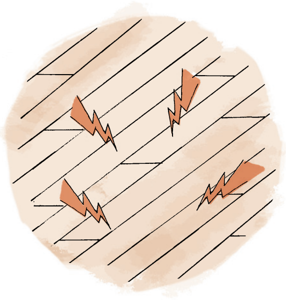
エアコンの使用時

エアコンの暖房を長時間連続して使用すると室内が乾燥しすぎ、フロアの継ぎ目にスキ間ができたり、表面にひび割れを生じたりすることがあります。加湿器などで適度な湿気を補うようにしてください。



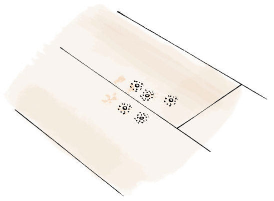
床鳴りについて

フロアの継ぎ目部分がすれて音が発生することがあります。これは木質床材が天然素材のため木の性質として調湿機能が働き、伸び縮みを生じることで発生するためで、特性上やむを得ない現象です。



虫害について

小さな穴があき、木の粉が出てくるなどの現象は、木部についた虫害と考えられます。万一発生した場合は専用薬剤を注入するなど早期対応が必要です。専用薬剤はホームセンターなどでお求めいただけますが、専門処理業者にご相談されることをおすすめいたします。



WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

大　阪　大阪市中央区南本町4-5-10　〒541-0054　Tel.06-6245-9501
東　京　東京都江東区新木場1-4-6　〒136-0082　Tel.03-5569-5512

■おことわり
●記載の内容につきましては、予告なく変更になることがあります。
●本書に収録したものはすべて当社に著作権の存するものですから、無断の複製は、かたくお断わりします。

このカタログの記載内容は2020年7月現在のものです。

ホームページ　http://www.woodtec.co.jp

HD-4 宣D577.21.3Ⓐ

床のお手入れ手引き

非住宅用フロア

(土足用)

CONTENTS

使用上のご注意
日頃のお手入れについて
木質床材だから起こること

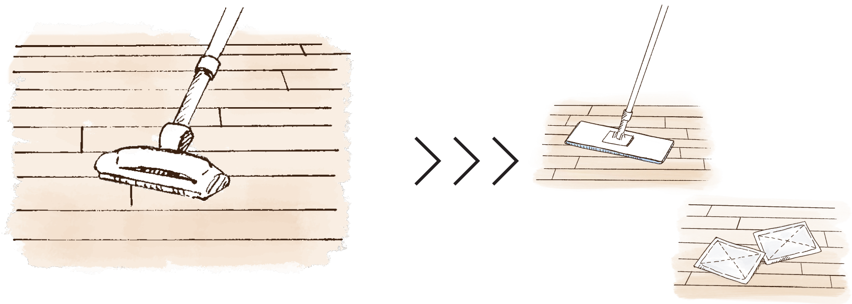
朝日ウッドテック株式会社

日常のお手入れ

清掃について

掃除機で床表面のゴミやホコリを取り除き、乾いた雑巾やモップで乾拭きしてください。乾拭きで落ちない汚れは、水で濡らして固く絞った雑巾で取り除き、使用後はカラ拭きしてください。

※雑巾はよく絞ってお使いください。
　水気が残るような雑巾がけは避けてください。



お手入れ道具についてのご注意

化学雑巾・化学モップ

ご使用される場合は、水濡れ箇所や、ワックスがけの前後には絶対に使用しないでください。また、長時間床の上に置かないでください。変色を起こすおそれがあります。

フローリングワイパー

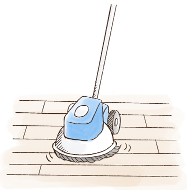
ドライタイプ：白い繊維が目地部分に引っ掛かり、付着し目立つ場合があります。

ウェットタイプ：使用後に洗剤成分が残らないように、もし見えて残っている場合はよく絞った雑巾で拭き取ってください。また長時間、床の上に置きっぱなしにしないでください。

スチーム洗浄機

スチーム洗浄機の使用は控えてください。熱や水分により、フローリングに突き上げ、膨れ、ヒビワレ、カビ、変色、白化などを生じるおそれがあります。

ポリッシャー



洗浄用洗剤・水をフロア表面に多量に散布しないでください。洗浄後は表面に洗剤や水分が残らないように除去してください。洗浄用洗剤は中性のものを使用してください。アルカリ性洗浄剤の使用は、変色を起こす場合があります。ポリッシャーの重さやブラシ硬度によってはフロア表面に傷が生じる場合があるため、柔らかいブラシを使用して、事前に目立たない部分で確かめてください。

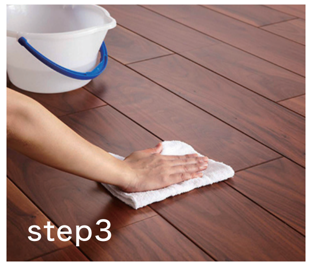
汚れのひどい場合について

床材用の洗剤やクリーナーをお使いください。（但しワックス塗布されていない場合のみ）

汚れのひどい床。床のホコリ等を取り除きます。

※ 洗剤を直接床にまかないでください。

床用洗剤を含ませた雑巾で拭く。



きれいに水洗いした雑巾等で水拭きを2回以上くり返し、完全に洗剤分を拭き取ります。

床が完全に乾くまで放置します。頑固な汚れの場合はクリーナーをつけた雑巾で拭いた後、5分程放置し、水拭きして下さい。

ワックスについて

ワックスをかけると製品が有している塗装性能を発揮できなくなりますのでご注意ください。

ワックスをかけると表面のツヤが上がり、製品本来の仕上がりとは異なってきます。ワックス効果を保つには定期的なワックスがけが必要になります。

ワックスがけ前　　ワックスがけ後

推奨ワックス

リンレイ	ハイテク フローリングコート	リスダンケミカル	ナチュラルック
	ハイテク フローリングコート つや消し40		ノングロスコート匠
	ハイテク フローリングコート つや消し20		ノンスリップコート

ワックスを剥離したい場合

ワックス剥離剤で除去することは可能です。変色のおそれがあるため、ご使用の際にはその使用方法をよく読み、十分にご注意ください。また使用後、水で濡らしてよく絞った雑巾で拭き取ってください。強アルカリ性ワックス剥離剤は使用しないでください。
ワックス剥離剤を使用する場合には、使用方法を確認の上、事前に目立たない部分で確認をして使用してください。希釈率や塗布方法を間違えると、フロアの反りや変色が発生することがあります。

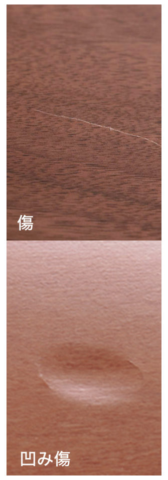
表面コート剤のご使用について

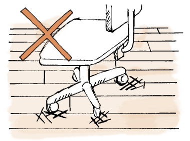
表面コート剤（コーティング）を使用する必要はありません。希望される場合は、業者様に十分ご確認の上、使用をご判断ください。（床材の表面がコート剤の皮膜となり、製品の塗装本来の仕上がりとは異なります。）

取り扱い上でのご注意

傷・凹みを起こさないようにするために

傷・凹みなどは、家具によって集中的に力が加わったり、椅子などを引きずったりすると起こります。



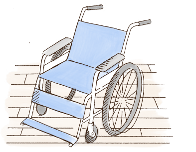


キャスター付の椅子

キャスター付きの椅子、家具は使用しないでください。使用する場合には、必ずチェアマット・カーペットなどで保護してください。

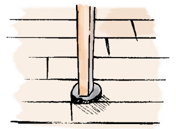
耐傷性フロアの場合

- ◆弊社従来フロアと比較して、傷がつきにくい商品です。キャスター付きの椅子、家具を使用しても、傷がまったく付かないわけではありません。
- ◆事務所や在宅勤務等のキャスター使用頻度が高い場所では、必ずチェアマット・カーペットなどで保護してください。
- ◆金属製キャスターや球状キャスターは使用しないでください。



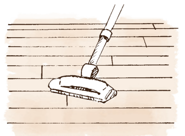
車椅子の利用

車椅子を使用する場合、タイヤに砂やゴミが付着していると床面が傷つくのでご注意いただき、入室時にタイヤの汚れ、砂利、ゴミ等を落としてください。同じ場所で繰り返し使用する場合、床面に傷・凹み・ツヤの変化などが生じるのでマット等で保護してください。



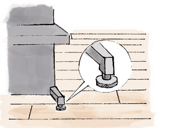
通常脚の椅子・テーブルなど

接触する部分にフェルト等を取り付けて保護してください。



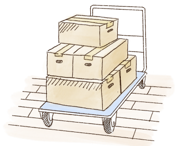
掃除機について

掃除機ヘッドの摩耗により、掃除機ヘッドのプラスティック部がフロアに直接あたると、フロアを傷つけることがあります。掃除機の取扱説明書をお読みのうえ、正しくご使用下さい。



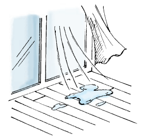
重い家具や、電化製品について

敷板を敷くなどして、重量が分散するようにしてください。



重量物の運搬

コンクリート下地用フロア（裏面がクッション材）の場合、重量物を積載した台車（重量配膳車等）の移動時にフロアが変形・沈み込むため、割れや凹みが起こりやすくなります。重量物を積載した台車は使用しないでください。木下地用フロア（裏面が合板のフロア）の場合、重量物を積載した台車（重量配膳車等）を繰返し使用すると、フロア表面に割れや凹みが起こることがあります。硬質樹脂製以外の車輪を選ぶなど、フロア表面への負荷を減らしてください。



土砂や水の流入防止

外部から入る砂や、履物裏面に付着した砂やゴミにより床面が傷つく場合があります。出入り口の砂・ホコリ・水濡れ防止のために、出入り口にはマットを設置してください。

利用履物

女性用ハイヒール等履物の材質、形状によっては、表面に傷や凹み等が生じることがあります。

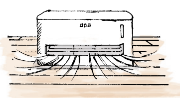
ペットについて

ペットの爪でフロアの表面を傷つける場合があります。

ひび割れを起こりにくくするために

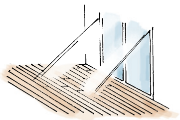
表面挽き板・突き板のひび割れは、湿度や温度変化によるフロアの伸縮によって起こることがあります。

※電気カーペットは使用しないでください。



温風暖房機の使用時

フロアに温風が直接当たらないよう、カーペット等を敷いて保護してください。

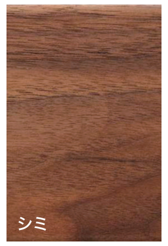


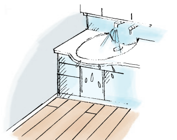
直射日光を避ける

カーテン等で直射日光を出来るだけ遮ってください。

シミ・汚れを起こさないようにするために

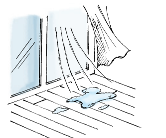
長時間濡れたままにすると、シミ・変色・ひび割れなどのもとになります。水などをこぼした場合はすぐに拭き取っていただくことが大切です。





台所・洗面所周辺

水が飛び散るおそれのある場所にはマットを敷いて保護してください。



窓・掃き出しサッシ

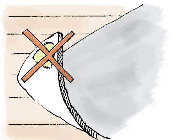
雨の吹き込みにご注意ください。濡れた場合はすぐに拭き取ってください。

結露

長期にわたり結露の水分が床に吸収されるとシミや波打ちが起こります。

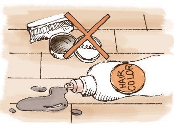
観葉植物

観葉植物の鉢は、必ず水受け用の皿などを敷いてください。



ゴムなどの色移り

カーペットや玄関マットなどを固定する粘着テープなどゴム類は色移りや、成分の溶出のおそれがあります。使用を避けてください。

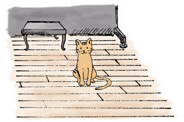


毛染め剤、靴墨

毛染め剤、パーマ液、靴墨の汚れは取れません。使用時はビニールなどで床をカバーしてください。

各種薬品・調味料

こぼした場合は、固く絞った雑巾か中性洗剤を含ませた雑巾で拭き取ってください。



ペットの排泄物

固く絞った雑巾などですぐに拭き取ってください。放置するとシミ・汚染が発生します。

マジック、絵の具など

早めに家庭用洗剤、またはアルコールを含ませた布で拭き取ってください。